

## むすびに「勇往邁進」

大きな目標に向かって、困難をものともせず、脇目もふらずに進んでいくという意味です。

東入間青年会議所の理事長が、今年のまちづくり運動の基本理念に掲げた言葉です。理事長の所信から熱き想いとエネルギーがひしひしと伝わり、この言葉が雷鳴のごとく全身を駆け抜けました。若きリーダーから若きエネルギーと情熱をいただきました。

この「勇往邁進」なくして困難や障害を突破し、物事を成就させることはできない。まちづくりも同様です。今年一年、この言葉を座右に三芳町の発展、住民の皆さまの幸せのためにまちづくりに励んでまいります。

住民の皆さま並びに議員各位におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の平成30年度施政方針といたします。

—平成30年度施政方針より—



↑3月1日に行われた議会冒頭で、町長が施政方針を表明しました。

施政方針の詳細は、町のホームページをご確認ください。



## 公園整備

### ゆとりと潤いの空間

これまでに土地区画整理事業で5か所の公園を整備してきました。今年度は、北松原第3公園の実施設計を行い、平成31年度オープンに向けて準備を進めます。また、夏にはホテルを鑑賞することができ、住民の憩いの場所でもある「こぶしの里」の改修工事を行います。



## 道路整備

### 安全安心な通行

道路改良事業として、幹線21号線とみよし台2号線の改良工事を行います。また、町道幹線1号線道路修繕工事のほか、6路線の修繕、部分舗装等を実施します。歩道については主要幹線の交差点25か所の交通量調査をし、計画的な歩道整備の指針となる歩道整備計画の策定準備をします。



## 藤久保地域拠点

### 基本構想の策定

藤久保小学校を含めた藤久保地域の公共施設を複合化する計画については、これまでワークショップやまちづくり懇話会を開催し、住民の意見をまとめてきました。今年度は集めた意見を反映させ、今後の公共施設のあるべき姿や方向性を整理するために、基本構想を策定します。



## 高齢者支援

### 生きがい・楽しく暮らす

医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を総合的に行う地域包括ケアシステムの構築をめざします。また、地域の支えあい、介護予防教室、みよしいもっこ体操、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座を引き続き行い、高齢者が生きがいをもって、楽しく暮らせるまちづくりを進めます。



## 健康長寿

### 食べて！健康プロジェクト

3年にわたり実施した健康長寿事業は、2,000人を超える参加があり、医療費が低減するなど大きな成果をあげました。今年度は「みよし野菜 食べて！健康プロジェクト」として、大学や企業と連携し、野菜の摂取や筋力トレーニングにより健康的な生活に向けて改善をめざします。



## 緑のトラスト 14号地

### 三芳の自然に愛着を

藤久保の緑のトラスト保全第14号地は、森林の保全や散策路の設置を行い、正式オープンします。幅広い世代が利用できる場として、ネイチャーイベントなど体験事業を行います。さらに、生物多様性や先人の知恵・歴史を学ぶ場として、今後、環境教育プログラムを行います。



## 日本農業遺産

### 伝統農法を身近に体験

三芳町で受け継がれている「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は、昨年3月に日本農業遺産に認定されました。今年度は日本農業遺産を地域ブランドとして活用し、役場庁舎内に各地の農業遺産を紹介する拠点を作るほか、農業体験や学習を通じて農業遺産を体感できる日本農業遺産農業塾を開設します。



## 賑わいバザール公園

### 新たなビジネスを創出

西の玄関口として整備をめざす（仮称）三芳バザール賑わい公園構想は、スマートICを活用した地域活性化の拠点となることから、基本構想策定に向けて事業手法や施設機能の調査を進めました。今年度は事業公募に必要な施設条件等を整理した基本計画を策定します。



## スマートIC

### フル化および車種拡大

閑越自動車道三芳スマートICのフル化・車種拡大については、アクセス道路の整備に着手するとともに、引き続きNEXCO東日本や県土地開発公社と連携しながら、用地交渉を進めていきます。今年度は用地買収が完了した箇所から順次、工事に着手していきます。



## 公共交通補助

### “移動”の負担減

町内を循環するライフバスやドアtoドアで便利なタクシー。公共交通は生活に欠かせないものとなっています。75歳以上の人に利用料金を補助し、移動にかかる費用の負担を軽減します。また、運転免許を返納した高齢者への公共交通利用補助についても継続して行います。



地域や関係者との連携を図り、企業ニーズを的確に把握し、企業留置につなげていきます。

地域農業では、観光産業など幅広い分野と地域農業を組み合わせ、6次産業+（プラス）を引き続き実施し、地域産業の振興と農産物の高付加価値化を図ります。「みよし野菜」の消費拡大やイメージアップ等により、地域の農業の強みを伸ばしていきます。

限りある資源を有意義に活用していくため、ふじみ野市・三芳町環境センターを活用し、新たにすべての小学校4年生を対象に廃棄物処理施設の見学や環境の体験型学習を行います。環境問題への意識を高め、リサイクル意識の向上を図ることにより、ごみの減量化に取り組めます。

③ **緑と活力にあふれた魅力あふれるまち**

情報のバリアフリー化をめざし、耳の不自由な人やパソコンに不慣れな人にテレビを利用してお知らせや災害情報をタイムリーにお届けするテレビ埼玉を活用したデータ放送を開始します。

町が進めてきた企業誘致は、昨年12月には「みどり共生産業ゾーン」への進出第1号となる流通業施設の新規立地が決定するなど、着実に実を結んでいます。さらに、企業が立地する用地を確保するため、工業系エリアの利活用に向け

り、平成31年度に円滑に移行できるよう準備します。学童保育室や児童館の事業を継続するとともに、子育て世代包括支援センターでは子育ての不安や虐待防止に努めます。

歳入確保や地域産業の活性化に着手につながっているふるさと納税制度は、多様な謝礼品を用意するなど魅力を高め、平成29年度は前年度を大きく上回る2億円以上の寄附をいただきました。この寄附は貴重な財源として有効に活用していきます。